

あけましておめでとうございます。うさぎ組での生活も残すところわずか3か月となりました。残りの期間も、元気いっぱいの子どもたちと楽しい毎日を送っていききたいと思います。

先月は喜びに溢れた嬉しいクリスマスを迎えました。聖歌隊としてページェント礼拝を守ったうさぎ組の子どもたち。一生懸命歌う姿から、クリスマスの喜びを表現する楽しさが伝わり成長を感じました。ぞう組のページェント礼拝を見た子どもたちは「マリアさんしたい!」「わたしヨセフさん!」と、ままごとコーナーではページェントごっこが大ブームとなっています。『受胎告知』のシーンや、『宿屋との掛け合い(宿探し)』、『博士の捧げもの』など、表現することを楽しみ、ページェント礼拝の中で心を動かしていた様子が伝わってきます。子どもたちと一緒にクリスマスの喜びを感じることができ、とても嬉しく思います。

今月は凧制作やコマ回しなどの正月遊びや、劇遊びを楽しみます。劇遊びでは、物語の世界を楽しみ、それぞれの役になりきって歌や言葉で表現すること、また劇で使う道具作りに取り組んでいきたいとします。子どもたちが楽しさや面白さを感じながら、友だちと一緒に表現する、協力して取り組む喜びを感じられるように関わっていききたいと思います。



毎日、朝の会でクリスマスがテーマの絵本を読むようにしていました。

誕生会で『赤鼻のトナカイ』の歌を歌った子どもたちは、トナカイの鼻の色が気になるようで、いくつかの絵本を見る度に・・・

Aちゃん「このトナカイ赤くない!」
Bちゃん「別のトナカイなんかな?」
Cくん「今から赤くなるんじゃない?」
Dくん「前の絵本は全員赤かったよ!」

「赤鼻のトナカイ」に思い入れを抱き、どの絵本に出てくるトナカイもよく見て子どもたちの発見を楽しむ様子が微笑ましく、かわいかったです。

あけましておめでとうございます。冬休みはご家族でゆっくり過ごされたでしょうか?新しい年を迎え、ひつじ組も残り3か月となりました。嬉しいような少し寂しいような、担任は複雑な気持ちですが、先日、昼食中の会話で「ねえ先生、1月になったらぞう組でしょう?」と話していました。子どもたちからは、ぞう組に向けて一直線な気持ちが伝わってきます。ぞう組になったら、「クリスマスページェントする!」「お泊まり保育に行くんだよ!」「体育遊びもあるんだって!」とこれまで近くでぞう組の姿を見てきたからこそ、憧れの気持ちがとっても大きいようです。ひつじ組での生活も一日一日を大切に過ごしながら、身の回りのことは一つひとつ丁寧に、子どもたちのやってみようとする気持ちやありのままの姿を認めながら自信に繋げていきたいとします。ご家庭でも「ぞうぐみ楽しみだね!」と大きくなった喜びと一緒に感じて過ごしてくださいね。

今月は、コマ回しやすごろく、カルタ、凧揚げなど日本の伝統的な遊びに触れ、楽しさを味わいたいとします。また、みんなでお話の世界を楽しむ劇遊びにも取り組み、イメージを共有したり、お話の中に出てくる人物の気持ちを想像したり、演じてみたりして楽しんでいきたいとします。



クラスで

『いねむりサンタさん』という絵本を読んだあとのことです。園庭で遊んでいると、眠っている(!?)青いイモムシを見つけました。

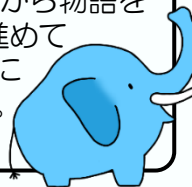
Aちゃん「あっ!おねぼうサンタさんみたい!!そういえばさ、虫の中(世界)にもサンタさんっているのかな?」

担任「ほんとだね!!どうなんだろう…」

虫の世界のサンタさんをAちゃんと一緒に想像してしまい、思わず笑ってしまいました。想像力豊かな子どもとの会話が毎日とても楽しいです!

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、ぞう組での生活も残すところ3か月となりました。先月のページェント礼拝では、クリスマスの出来事を伝える喜びをたくさん感じながら過ごしていた子どもたちです。日々の取り組みの中では、友だちの頑張っている姿を認め合ったり、役の意味やその時の気持ちを考えたり、どのような声で伝えたらいいのか、また、目線や体の向きなど、様々な視点で一人ひとりに与えられた役割について考えを深めてきました。取り組みを進める中では緊張する姿も見られましたが、自分たちの力を信じて友だちと助け合い、協力し合う姿に成長を感じました。卒園までの残りの時間も、友だちとの繋がりを大切にしながら一日一日を大切に過ごしていききたいと思います。

今月は、お正月遊びを中心に楽しんでいきたいとします。凧制作やカルタ、コマ回しやすごろくなど、伝統的な遊びに触れ、その由来やこの季節ならではの遊びや楽しみ方を知り、挑戦していききたいと思います。また、劇遊びでは、話し合いやイメージの共有を大切にしながら物語を表現し、みんなで作り上げていく楽しさを感じられるように進めていきたいと考えています。子どもたちの豊かな発想を大切にしながら劇に必要な道具作りも進めていきたいとします。どのような劇になるのか、楽しみにしててくださいね。



今季一番寒い日に、関西学院上ヶ原キャンパスまでの道を歩いていったときの事です。

Aくん「先生、知ってる?南極ってな、めっちゃ寒いねんで。」

保育者「そうだね。」

Aくん「普通の服やったら凍ってしまうねんで。特別な服が必要やねん。だからな、ドラえもんに頼んで秘密道具から出してもらわねあかんねん。」

知識が増えてきたことで、現実的な考えや言葉も増えてきている子どもたちですが、かわいい発想もまだまだ聞かれます。

寒い散歩道もほっこりしました。